

## 4 . 津保健福祉事務所の取組

平成 21 年度の取組

### 1 総合（生活習慣病予防総合推進事業）

平成 18 年 1 月から糖尿病予防対策を中止とした事業を展開してきました。ハイリスク者の早期発見かつ適正な保健指導の実施と対処行動がとれるための支援、また重症化防止のための体制整備等をすすめました。

糖尿病の早期発見及び適正な治療については、糖尿病予防研究会で検討を重ねてきたものを今年度は（社）三重県医師会・三重県糖尿病対策推進会議において検討がなされ、「境界型糖尿病のスクリーニングチャート」、「境界型糖尿病に対する指導・治療ガイドライン」として作成し、県医師会において 12 月には医師会員、保健師等を対象に研修会が実施されたところです。

生活習慣病は、早い時期からの予防が大切です。そのことから子どもや親にたいする健康づくりの啓発も欠かせません。そこで地域や学校との協働による啓発も継続してすすめているところです。

さらに、今年度は働く世代への健康づくりを強化するために、地域保健と職域保健の連携強化を推進しました。

### （1）糖尿病予防研究会

生活習慣病の予防、糖尿病の予防及び早期発見・早期治療を支援する保健・医療・

職域・学校等の協働体制の構築を目指し検討を行いました。

平成 21 年 6 月 18 日 18：30～20：30 委員数 35 名

#### 協議事項

- ・ 平成 20 年度の活動のまとめと 21 年度の方向性について
- ・ 糖尿病予備軍の早期発見・早期保健指導のためのフローチャートについて
- ・ 糖尿病重症化予防の取組：病診連携システムについて
- ・ 働く世代の健康づくりの取組について

#### 共有事項

- ・ 平成 21 年度三重県糖尿病対策事業について
- ・ 平成 20 年度特定健診・特定保健指導の実施状況と 21 年度事業について
- ・ 平成 20 年度津市における特定健診・特定保健指導実施状況について

### （2）糖尿病予防研究会事業所部会（地域・職域連携推進事業） 委員数 19 名

第 1 回 平成 21 年 9 月 1 日 15：00～17：00

- ・ メタボリックシンドロームと地域・職域連携について
- ・ 地域・職域保健の効果的な連携について
- ・ 意見交換：働きざかり層への健康支援の現状と課題について

第 2 回 平成 21 年 11 月 24 日 15：00～17：00

- ・ 研修会事業について

- ・ 最新健康関連情報の共有
  - 新型インフルエンザについて
  - 三重県におけるがん対策について
  - 三重県における自殺対策について

第3回 平成22年2月3日 14:00~15:00

- ・ 平成21年度における事業所部会の取組について
- ・ 平成22年度の事業所部会の方向性について

(3) 平成21年度地域・職域協働研修会について

- ・ 日時：平成22年2月3日 15:00~17:00

- ・ 内容：活力ある職場づくりへのパスポート  
~メンタルヘルス対策~

講演「職場で役立つメンタルヘルス」

講師 三重県こころの健康センター所長 井上雄一朗先生

対象 職域でこころの健康づくりに関わる人等 39名が参加



(4) 健康で長生きするための環境整備推進事業

子どもから高齢者まで全ての人々が、健康でイキイキと暮らせる「健康なまちづくり」を目指して環境整備を行いました。

推進会議（南が丘元気ネット）年2回開催

委員数 11名・オブザーバー1名

講演会等の実施

| 日時  | 内容  | 対象                                    |
|---|---|---------------------------------------|
| H21.8.22<br>(土)<br>15:00 ~<br>19:00             | 南が丘ふれあいまつりにおける元気づくりコーナー<br>子どもから高齢者の地域住民 3,000 人が参加する<br>「南が丘ふれあいまつり」において、握力測定や豆つかみを実施        | 握力測定 約 250 名<br>豆つかみ 約 250 名          |
| H21.5.28<br>(木)<br>10:45 ~<br>13:00<br>(3.4 限目) | 南が丘元気ネット料理教室<br>講話 朝ごはんについて 南が丘小学校栄養教諭<br>調理実習 簡単朝ごはんメニュー<br>南が丘地区食生活改善推進員<br>調理実習 簡単バランスメニュー | 南が丘小学校低学年児童保護者等<br>18 名<br>南が丘小学校高学年児 |

|                                     |   |                         |
|-------------------------------------|---|-------------------------|
| H21.11.9<br>(月)<br>10:00 ~<br>13:00 | 南が丘地区食生活改善推進員<br>実習・講話 食事バランスガイド紹介<br>津市中央保健センター 管理栄養士・保健師                    | 童保護者等<br>8名             |
| H22.2.2<br>(火)<br>11:35 ~<br>12:30  | 講演会 講演「ちょっとまって！ケータイ」<br>＝ケータイトラブルから子どもを守るた<br>めに＝<br>講師 津市教育委員会事務局 堀山祐治<br>先生 | 南が丘小学校保護者と<br>地域住民等 51名 |

### (5) 事業所訪問

述べ15回関係事業所等を訪問し、保健事業等について情報交換や共有を行い効果的な事業の推進を図った。

#### 生活習慣病予防総合推進事業における糖尿病予防研究会の取組経過

| 区分                              | 項目             | 17年度                                      | 18年度  | 19年度  | 20年度   | 成果と課題   | 21年度   |
|---------------------------------|----------------|---|---|---|--|---|--|
| 事業の推進母体                         | 糖尿病予防研究会設置     | 研究会設置<br>第1回 18.1.18                      | 第1回 18.9.6<br>第2回 18.12.21<br>第3回 19.3.6                                      | 第1回 19.6.21<br>第2回 19.9.6<br>第3回 19.11.7<br>第4回 20.1.31 | 第1回 20.6.19<br>第2回 20.9.25<br>第3回 20.11.27<br>第4回 21.2.5 | 医療・地域保健、事業所等関係者による十分な検討の機会が得られ、今後の糖尿病対策の一環を担った。 | 糖尿病研究会<br>第1回 21.6.18  |
| 三次予防<br>↓<br>重症化予防の取組           | 病診連携システムの構築    |   | 病診連携システム構築に向けて検討  |   | 各地の取組の紹介・三重病院モデル、三重中央医療センターモデルについて                       | 糖尿病の重症化防止を防ぐシステムの構築へ。                           | 関係者間による情報共有とシステムの展開  |
| 二次予防<br>↓<br>生活習慣の改善支援の取組       | 医療体制整備         |   | ・糖尿病予備軍の早期発見・保健指導のためのフローチャート検討<br>・「糖尿病予防教室」(モデル教室)                           | ・津市「脱メタボリック教室」  |  | 糖尿病予備軍の早期発見・早期保健指導のためのフローチャートが作成できた。            | 三重県医師会による普及啓発への体制整備<br>↓<br>「境界型糖尿病に対する指導・治療講習会」21.12.23<br>三重県医師会主催   |
| 一次予防<br>↓<br>疾病の早期発見、健康づくりの普及啓発 | データ分析          |   | 健診データの収集、活用方法について検討   | 津市健診データ分析地域データ分析  |  | 特定健診・特定保健指導事業のデータ分析が必要                          | 津市：三重大との協働   |
|                                 | 地域・職域連携(事業所部会) |   |   | 特定健診・特定保健指導実施についての情報交換                                  | 事業所における課題整理  | 働き盛り層への健康支援の取組が必要。<br>↓<br>地域保健と職域保健の連携・推進      | 地域保健・職域保健の意見交換、情報共有<br>↓<br>・事業所部会単独開催<br>①21.9.1 ②21.11.24<br>③22.2.3<br>・保健事業の共有化<br>・情報提供・意見交換<br>・協働研修会 22.2.3開催 |
|                                 | 啓発             | 健康で長生きするための環境整備事業(南が丘元気ネット)               |   |   |  | 地域、学校等の協働による取組ができた。子ども世代から正しい生活習慣を身につけることが大切。   | 三重県糖尿病対策事業(健康づくり室実施)による普及啓発等   |
|                                 | 研修等            | 「沖縄県の現状から学ぶメタボリックシンドロームの予防」<br>沖縄県・田中秀明先生 | ・「糖尿病の病態と治療」<br>住田安弘先生<br>・「医療費分析研修会」<br>加藤孝夫先生<br>・「基本健康診査データ活用分析」<br>中野正孝先生 | ・生活習慣病についての健康教育(5ヶ所)<br>・特定健診・特定保健指導実践者研修(三重県・保険者協議会)   |  | 事業を進めるための体制づくりや人材育成が実施できた。                      | ・特定健診・保健指導実践者研修<br>・実践者のためのスキルアップ研修<br>(三重県、保健者協議会主催)  |

津新町駅前にて啓発

約1,000名に啓発

### 3 こころの健康づくり

- ・地域精神保健福祉研修 ・リスナー指導者研修 ・職域メンタルヘルスサポーター研修の3つの研修を1つのパッケージとした精神保健福祉従事者研修を実施しました。目的は地域における各分野での関係者の人材育成を図ることです。東紀州以外を対象とし津保健福祉事務所が担当しました。

①(精神保健福祉研修、リスナー指導者研修、職域メンタルヘルスサポーター養成研修、

リスナー継続研修)・・・開催回数 8 回 参加者延べ人数 354 人

自殺予防対策

講演会

自殺予防対策の基盤づくりとして津地域こころのフォーラムを実施しました。

平成 21 年 12 月 18 日(金) 13:30～16:00 津庁舎

講師 関西国際大学人間科学部人間心理学科 教授の渡辺直樹氏

テーマ「こころと命を支える地域づくり」

～気持ちを伝え合い、こころの架け橋をつくろう～

参加者 津地域の関係者、民生委員、食生活推進委員、当事者など 94 名

講演の後、「私たちにできること」をテーマに情報交換を行いました。

啓発

- ・ 9/10 自殺予防週間における該当啓発を実施(近鉄津新町駅)
- ・ 9/10～9/16 自殺予防週間にあわせて啓発コーナーを設置(津庁舎ロビー)  
庁舎の来庁者や職員に広く啓発を行うことが出来ました。
- ・ 第 6 回こころしっとこ祭(こころの医療センターが主催)の場で自殺予防啓発を  
実  
施しました。

#### 4 栄養・食生活

特定給食施設指導を通じた食環境づくり

特定多数の人に継続的に食事を提供する給食施設は、喫食者が健康的な食習慣を身につけ、より健康的な生活を送るために必要な知識を習得する良い機会です。

保育園・幼稚園児では子どもの頃から望ましい食習慣の形成をするための食育と併せて保護者への啓発に関する指導助言を、また、事業所では働く世代へのメタボリックシンドローム対策として喫食者等に食事の献立や各種の媒体を活用するなどにより知識の普及に努めるよう指導助言しました。各々の施設に応じ継続した指導を行い、県民が健全で望ましい食生活が送れる食環境づくりに取組みました。

特定給食施設巡回指導 実施設数 96 施設

(うち保育園・幼稚園 37 施設、事業所等 8 施設)

ネットワークを活かした健康増進と生活習慣病予防

保健・医療・福祉・教育・産業など異なる職域の管理栄養士等で構成するネットワークを生かし、特定給食施設等の円滑な運営や地域の食生活上の問題に連携して取組、住民の各ライフステージにおいての健康増進と生活習慣病予防を図りました。

研修会 平成 21 年 7 月 14 日(火) 参加者 68 名

・ 講演「薬と食品との相互作用」

・ グループワーク

平成 22 年 1 月 7 日(木) 参加者 74 名

・ 講演「保健機能食品とトクホ

～保健機能食品、医薬品、一般食品の違いは～」

・演習「クロスロードゲーム」～食の安全編～

啓 発 保育所保育指針の改定によって保育所における食育の推進が明確になり、様々な取組が行われています。しかし、保護者への啓発については、まだ十分には進められていません。そこで、園児の保護者が多く集う機会である保育園展において食育コーナーを設け、野菜摂取量の増加に向けた啓発を中心に幼児期からの健康的な食生活の実践を普及啓発しました。

実施日 平成 22 年 2 月 13 日（土）、14 日（日）

場 所 三重県総合文化センター 第 1・2 ギャラリー

参加者 保育園児及びその保護者、保育士等 約 800 名

## 平成 21 年度の成果

### 1 総合（生活習慣病予防総合推進事業）

糖尿病予防研究会を事業の推進母体として位置づけ事業展開を推進してきました。

一次予防対策として、学校と地域が協働で健康講演会、子どものための料理教室、地域健康イベントへの参画をとおして、子どもの頃からの健康づくりの啓発を行いました。

また、働きざかり層への健康支援のために、研究会内に設置していた事業所部会を特化し、地域・職域連携に重点をおき、両者の保健事業の共有や新型インフルエンザ、自殺対策、がん対策等最新の健康関連情報についての提供をおこないました。

さらに、地域・職域の課題であるところのこころの健康づくりについての研修会を協働で実施しました。

二次予防では、従来から継続で検討していた糖尿病の境界例の対応について（社）三重県医師会、三重県糖尿病対策推進会議に引き継がれ、「境界型糖尿病に対する指導・治療ガイドライン」「境界型糖尿病のスクリーニングチャート」が完成し、12 月に医師やコメディカル対象に研修会が実施されました。

三次予防では、糖尿病の治療中断や重症化予防をめざし、クリティカルパスについて情報交換をおこないました。

事業も 4 年目になり、糖尿病対策から働きざかり層への健康支援を中心にシフトしながら関係機関とのネットワークを構築することができました。

### 2 たばこ

地域住民への直接啓発により、たばこ対策の重要なことを理解してもらうきっかけづくりとなりました。

### 3 こころの健康づくり

精神保健福祉従事者研修は 3 年間実施し成果が得られたということで、こころの健康づくりの中で特に自殺予防対策を中心に事業を実施することとなりました。

今年度の自殺予防対策は津市との共同で津地域こころのフォーラムを実施しました。「私たちにできること」というテーマで情報交換を行いました。

たくさん出た意見の中で

- ・ ひとり暮らし対策

- ・ 町おこし対策
  - ・ 当事者の語り部
  - ・ 保健所や保健センターが従来やっている事業の継続（母子保健の赤ちゃん訪問・うつ傾向の母親への支援、健康教育など）
  - ・ 地域に安心して立ち寄り、ほっとできる場所づくり
  - ・ 仕事がない問題
- などの課題が整理されました。

#### 4 栄養・食生活

- ・ 特定給食施設指導を通して、健康づくりにつながる食事の提供や栄養情報の提供について啓発ができました。  
働く世代が対象となる事業所等については、給食事務担当者、給食会社、健康管理担当者との連携を図り、「職場給食＝ポピュレーションアプローチの場」となるよう働きかけることができました。  
保育園については、巡回指導を実施した園だけでなく、保育所関係者対象研修会等においても指導内容を紹介することで食育推進に取り組むことができました。また、幼稚園での食育実施状況の把握と共に取組に対する提案を行うことができました。
- ・ 新たな情報提供経路として、地域のお店や施設との協働体制整備を進めることができました。

### 平成22年度の方針、実施計画

#### 1 総合（生活習慣病予防総合推進事業）

##### 糖尿病予防研究会

今後は、糖尿病に限らず生活習慣病全般について、総合的に関係者による課題の検討、情報の共有をおこないます

##### 地域・職域連携事業

従来、糖尿病研究会の部会として事業展開をしてきましたが、研究会から独立した地域・職域連携推進事業として位置づけ、働きざかり層への健康支援を推進します。

##### 津市健康づくり計画の推進のための支援

健康づくり計画を推進していくための「津市健康づくり推進懇話会」への参加や、人材育成を中心に支援を行います。

#### 2 たばこ

世界禁煙デーにおける街頭啓発や、津市の健康づくり計画の中でのたばこ対策の取組

を支援します。

### 3 こころの健康づくり

今後は精神保健福祉対策やこころの健康づくりの核となる津地域精神保健福祉連絡協議会（こころ津むぎネット）の関係者や当事者が集まる場で検討していきます。

### 4 栄養・食生活

地域住民の健康的な食習慣の形成にむけて、生涯を通して継続した栄養と食の支援が受けられるよう特定給食施設指導等を通じた食環境整備をすすめます。